

やんばらあ～ねっと 2016年4月 第35号

ないよう
内 容

おきなわ しうがいしやさべつかいしうほうせこう いわ ぱれーど
沖 縄・障 害 者 差別 解 消 法 施行を 祝 うパレード

しみんこうりゅうふおーらむ まっとじょうえいかい
市民 交 流 フォーラム Matto 上 映 会

へいせい ねん がつ たち せこう さべつかいしうほう ぜんこくかくち しうがいしや
平 成 28 年 4 月 1 日に施行された差別 解 消 法 は全 國 各 地 の 障 害 者 の
またい おお さべつかいしうほうせこう いわ ぱれーど ぜんこくかくち おこな
期待が 大 き く、 差 別 解 消 法 施 行 を 祝 うパレード は全 國 各 地 で 行 われ て お り、
おきなわ へいせい ねん がつ たち けんない しうがいしや しえんしや やく にん
沖 縄 で は 平 成 28 年 4 月 1 日に 県 内 の 障 害 者 や 支 援 者 ら 約 200 人 が、
なはし こくさいどお ぱれーど さべつかいしうほう せこう いわ ぱれーどいんおきなわじっこう
那霸市 の 国 際 通 り で パレード (差 別 解 消 法 の 施 行 を 祝 うパレード) in 沖 縄 実 行
いいんかいしゅさい せこう いわ けんちようまえ ひら しゅうかい しうがい
委 員 会 主 催) し、 施 行 を 祝 い ま し た。 県 庁 前 で 開 い た 集 会 で は 「 障 害 の あ
ひと ひと とも こえ あ さべつ しゃかい じつけん うつた
る 人 も な い 人 も 共 に 声 を 上 げ、 差 別 の な い 社 会 を 実 現 し よう 」 と 訴 え ま し た。

じよじよ しうがい りゆう さべつ しゃかいさんか じゅうじつ
これ か ら 徐々 に 障 害 を 理 由 と す る 差 別 が な く な り、 社 会 参 加 し や す く 充 実 さ せ た
せいかつ しゃかいせいかつ おく すべ ひと でき きたい どうじ
生 活 を、 社 会 生 活 を 送 る 全 て の 人 が 出 来 る よ う に 期 待 す る の と 同 時 に こ れ か ら も
かつどう がんば おも
活 動 を 頑 張 つ い き た い と 思 い ま す。

さんかしや 参加者は、それぞれの思いをプラカードや風船に書き「障害への理解を広げよう」、
くるま の 「車 いすに乗っているけど公共交通機関を使って友だちと一緒に近くの学校に行
きたい」、「教育や社会参加をやろうと思っても出来ないことが多くあった」などと書いた
ぷらカードも、まきしこうえん けんみんひろば ある
プラカードを持ち、牧志公園から県民広場まで歩きました。

ほりつ この法律の、【不当な差別的取り扱いの禁止】は、国や地方自治体のほか民間
きぎょう 企業にも及び、【合理的配慮の提供】についても学校や職場、街の商店、
ぼらんていあかつどう だんたい ひろ かんけい こうてききかん ぎむ みんかんじ
ボランティア活動をする団体まで広く関係し、公的機関に義務を民間事
ぎょうしゃ どりょくぎむ か
業者には努力義務を課しています。

こんかい じつこういいんかい かいさい ぱれーど ちいき かた ほりつ ひろ
また、今回の実行委員会で開催したパレードみたいに地域の方にこの法律を広
ふた けいはつかつどう い じゅうよう かだい おも
く伝えていけるように啓発活動をやって行くことも重要な課題だと思います。

じつこういいんちょう たかみねゆたかし けんみんひろば おこな しゅうかい
実行委員長の高嶺豊氏は県民広場で行われた集会で

ほりつ こくみん じゅうぶん りかい しょうがい ひと けんり まも よ なか
「法律が国民に十分に理解され、障害のある人の権利が守られる世の中にし
ていこう」と訴えました。

2014年に批准した障害者権利条約の背景には、障害は個人の心・身のうもんだいしゃかいてきしようへきだかんがかた機能の問題ではなく、社会的障壁によってつくり出されるという考え方があり、それに基づき、社会の中にあるバリアーを取り除くための合理的配慮の提供が規定されました。

たとえば車いす利用者であることを理由に飲食店への入店を断るのは不当な差別的取り扱いにあたり、建物のバリアフリー化はすぐには難しくても、携帯スロープの取り付けや、店員が車いすを持ち上げ入口の段差を乗り越えることは可能であり、そういった配慮をすることが合理的配慮の提供になります。

合理的配慮という言葉は難しいですがちょっとした気づきや配慮で障害を持つ人の困難を減らすことが出来ます。もし困っている人がいれば勇気がいるかも知れませんがせつきよくてきこえおも積極的に声をかけてほしいなと思います。

また障害を持っている私たち達も困った事があれば声をかけると思います。その時はどうじしゃこえみみかたむ当事者の声に耳を傾けてほしいです。

みんなが暮らしがいしく、いんくるーしぶしゃかい
みんなでつくりましょう。



1月30日(土)に沖縄市農民研修センターで市民交流フォーラム「～ど

んな障害があっても地域で暮らしたい!イタリアの精神病院閉鎖と入所者の

地域移行から学ぶこと~」というイベントが実行委員を結成して行われました。

イベントの内容は【むかしMattoの町があった】という精神病院収容をなくし、

精神障害者の「人間らしさ」の復権に全身全霊を捧げ、

精神保健福祉改革の最初の20年とフランコ・バザーリアの活躍を描いた映画の

上映会と精神障害当事者を中心にして精神障害当事者と実際に

いたりあ、せいしんびょういん、けんしゅう、かたとうじしゃ、しゅうろう
イタリアの精神病院だったところに研修で行った方と当事者でもありながら就労

けいそくしんびーかたじぎょうしょ だいひよう かた めい とうだんしや かいじょう
継続支援 B 型事業所の代表をしている方 5名の登壇者が会場の

さんかしや まじ くろすでいすかつしょん おこな
参加者を交えたクロスティスカッショントを行いました

わたし こんかい まつと まち えいが はじ み ねたばれ
私は今回【むかしMattoの町があった】という映画を初めて見ました。ネタバレにならな

ていど かんそう か むかし … にほん いま くに せいしんびょういん
い程度に感想を書くと、昔は…（日本では今もかな）どこの国の精神病院も

にゅういん かんじや たい じんけん な こうそく かくり ぎやくたい にちじょうてき
入院している患者に対しての人権は無く拘束・隔離・虐待が日常的に

おこな か てんかい はや ふらんこ ばざーりあ
行われているということが描かれています。展開はかなり早いのですがフランコ・バザーリアの

くろくのう ちょうせん えが しきん かた しょうげき う おも わたし
苦労苦悩や挑戦が描かれています。初見の方は衝撃を受けると思います。私は

しょうげき う れつあく かんきょう な か
が衝撃を受けたところはどんな劣悪な環境でも慣れてしまうということを描いているところ

みじか はなし るいはん い さいはん く かえ けいむしょ しゅうよう
で、身近な話だと累犯と言われる再犯を繰り返して刑務所に収容される

じゆけいしゃ せいしんびょういん ちようきにゅういん ねんいじょう ひと
受刑者や精神病院に長期入院（それこそ10年以上とか）している人の

ちいきいこう すす なか たいいん きよひ しせつしよう かたなど
地域移行を進めていく中で退院を拒否するいわゆる施設症の方等がありますが

にんげん れつあく かんきょう てきおう ないがし
【人間はどんなに劣悪な環境でも適応してしまう】ということを蔑ろにしていないと

おも はんめんこわ おも
ころがすごいなと思う反面怖いなと思いました。

クロスディスカッションでは精神医療の問題点やイタリアと日本の違い、マイノリティーが悪いのかマイノリティーを受け入れない社会が悪いのか等が話し合われました。

クロスディスカッションで良かったところは当事者主体の対話を行うことが出来たところで改善点はクロスディスカッション進行が滞りがちだったところです。

それでも、当事者主体で現在の日本の精神医療に対して問題提議出来たのは良かったことで多方向の視点からこれから論議検討する必要があると思います。

また、精神保健福祉を学び精神保健福祉士（P.S.W）を目指している学生がたくさん参加してくれたのはとても良かったことで当事者主体の活動をしている精神障害当事者が何を感じ、何を考えているのか知ることが出来たと思います。また、たくさんの人に疑問を投げかけ一緒により良い方法を考えていきたいなと思います。

【むかしMattoの町があった】の上 映 情 報 は 180 人のMattoの会 ホームページに

「情 報」がアップされています。

ぜひ ひと えいが み おも
是非たくさんの人 にこの映画を見てほしいなと思 います。

沖 繩 での直 近 の上 映 は 平 成 28 年 5 月 28 日 に 名 桜 大 学 サクラウム

講義棟 A であるようです。

【180 人のMattoの会】で検索の方 お願 いします(^^)

